

2017年度 同志社大学大学院 司法研究科

前期日程入学試験問題 法律科目試験

(刑事訴訟法)

次の(設例)を読んで、問(1)、問(2)に答えなさい。

(設例)

1. 平成28年8月10日午後9時ころ、甲グループに属する大学生数名が、A公園において、対立する乙グループの大学生数名を竹竿や鉄パイプで殴るなどの暴行を加えて、乙グループの学生4名に傷害を負わせる事件が発生した。

付近住民からの通報により、警察官が現場に臨場して捜査をしたところ、A公園付近では、午後9時ころには短時間のわか雨が降ったこと、公園内は舗装されておらず、土のままであることが判明した。また、公園内には、争ったような足跡が多数発見された。

襲われた被害者らは、その場にいたものの、靴や着衣などが泥まみれになっており、被害者らは、救急車で病院に搬送された。

甲グループの学生らは、既に逃走していた。

司法警察員Kは、本件の発生などに関する無線情報を受けて、逃走した甲グループの学生らを探索していたところ、同日午後10時40分ころ、A公園から直線距離にして約4キロメートル離れた路上で、顔面に新しい傷があり、靴が泥まみれの状態のXを発見し、職務質問のため停止を求めたところ、Xが急に逃げ出したので、10メートル追跡して追いつき、Xを上記傷害被疑事件により逮捕した。

2. Xの引致を受けた司法警察員Lは、所定の手続を経て、Xを取り調べたところ、Xが、「自分は事件とは関係ない」と言って犯行を否認したことから、Xに対して、「逮捕されたことが大学にばれたら、退学処分になるぞ。そうなれば、親が泣くぞ。素直に自白すれば、大学には知らせないようにしてやる」と言って、自白するよう説得したところ、Xは、しばしの間、考えていたが、やがて、Xが甲グループの一員として、乙グループの学生に対する襲撃に加わったことを自白するに至った。そこで、Lにより、当該自白を内容とする供述録取書が作成された。

問(1) (配点: 25点)

(設例)の事実1の逮捕の適法性について論じよ。

問(2) (配点: 25点)

(設例)の事実2の供述録取書の証拠能力について論じよ。ただし、問(1)の逮捕は、適法なものとする。